

新琴似緑小学校

令和7年度「全国学力・学習状況調査」

本校の概要、課題と改善方法について

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【小学校国語】

【領域】

知識及び技能

- ◆「言葉の特徴や使い方に関する事項」の平均正答率
 - ・全国平均を下回っている。
- ◆「情報の扱い方に関する事項」の平均正答率
 - ・全国平均を下回っている。
- ◆「我が国の言語文化に関する事項」の平均正答率
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている

思考力、判断力、表現力等

- ◆「話すこと・聞くこと」の平均正答率
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- ◆「書くこと」の平均正答率
 - ・全国平均を下回っている。
- ◆「読むこと」の平均正答率
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

▼目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。

▼事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。

▼目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けること。

○身近な題材から話題を見付け、伝えたいことを明確にしたり、順序を考えたりしながら、伝え合うことが繰り返してできる学習活動の充実。

○登場人物の行動や会話、様子などを表している叙述を関連させ、それをもとに性格や考え方を読み取る活動の充実。

○「何が書かれているか」という内容面と「どのように描かれているか」という表現面に着目し、物語の全体像をとらえる活動の充実。

【小学校算数】

【領域】

- ◆「数と計算」の平均正答率
 - ・全国平均を下回っている。
- ◇「図形」の平均正答率
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- ◆「測定」の平均正答率
 - ・全国平均を下回っている。
- ◆「変化と関係」の平均正答率
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- ◇「データの活用」の平均正答率
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

▼基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述すること。

▼分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述すること。

▼数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えること。

○問題場面を図などで表し、図と式を関連付けて数量の関係を捉える学習の充実。

○図形を構成する要素やそれらの位置関係に着目し、立体図形について考える学習の充実。

○伴って変わる二つの数量について、変化の規則性を基に筋道を立てて考え、知りたい数量の大きさを求めることができるようにする学習の充実。

【小学校理科】

【領域】

- ◆「エネルギー」の平均正答率
 - ・全国平均を下回っている。
- ◆「粒子」の平均正答率
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- ◆「生命」の平均正答率
 - ・全国平均を下回っている。
- ◆「地球」の平均正答率
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

▼身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があること。

▼差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現すること。

▼問題に対するまとめを導き出す際、解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現すること。

○実感を伴う実験や観察方法の充実。

○共通点や差異点を見出せるような学習環境の工夫や実験器具の充実。

○問題を解決するための条件を明らかにする場の充実。

○結果から分かったことを明確にするとともに、検証方法について振り返る活動の充実。